

## 矢川緑地保全地域 東京の里山湿地回復大作戦活動報告

### 1. 背景と目的

かつて水田であった湿地は、耕作者により耕耘され、水を張ることによって多様な生き物が生息する湿地環境を保っていました。近年、これらの作業が行われなくなり、放棄された湿地は堆積物により陸化し、乾燥に強いオギやヤナギの木などが入った結果、貴重な湿地環境を壊し、在来の水生植物などが失われてきています。「里山へGO！」では、都民等のみなさまにご参加をいただき、このように陸化が進む湿地を蘇らせ、多様な動植物を回復させることを目的に保全活動を行っています。

### 2. これまでの活動(全て「里山へGO！」)

【H28年7月30日】 湿地の掘削作業を試行し、その後、水が溜まったことを確認しました。



掘削 3 か月後

【H29年2月18日】 「第1回里山湿地回復大作戦」を開催、総勢29名が参加し、木道沿いに水路をつくりました。



掘削 6 か月後

【H30年2月10日】 「第2回里山湿地回復大作戦」を開催、総勢33名が参加し、水路の幅をさらに広げました。



### 3. 今回の活動

【H31年2月2日】 第3回目となる今回は、水の流れを作ることで湿地の乾燥化を防ぎ、多様な動植物の生息を促すため、湿地内に長さ20m×幅0.7m×深さ0.2m程度の浅い溝を2本作りました。



作業前



作業後

掘削した溝には、今年の4月から5月にかけて水が通る予定です。水が通った後は、どのような動植物が住める環境になるのか、継続して経過を観察していきます。